



爽風 2023

教職員研修を進めています！

今年は「主体的（自ら進んで）・対話的（友達との話し合い）に学び合うことをとおして学力向上につなげる」ことをテーマにして実践を繰り返しています。また、タブレット端末の効果的活用もテーマを支えるものです。

先日の1年生の研究授業では国語の説明文「はたらく じどう車」の読み取りでした。シヨベルカーの『つくり』と『はたらき』を接続語等の大事な言葉に注目して見つけ、教師の問いかけにより全員で話し合っまとめることができました。問題に対して熱心に学ぶ様子が見られ、1学期からの成長を感じます。

これまで、6年・4年（社会）、3年（図工）、あおぞら（自立）、2年（国語）と、授業研究を行ってきました。その時々で主体的に学ぶ姿があったか、そこから授業をどう展開するか、話し合い活動の場をどう設定するか、タブレット端末の出番をどこにできるか…の振り返りをして、少しずつ子供の学ぶ力の向上を図ってきています。今後も授業のよりよい改善を進めていきます。家庭学習の取組も学力向上に不可欠です。家庭でのご協力とご指導もお願いします。



学ぶ力の向上として・・・

①『加小★学びのかまえ』をつくりました！

指導の一体化をねらって、低・中・高学年ごとに学習の約束事を決めています。個人個人に持たせているので、ご家庭とも共同実践で進めたいと考えています。

②『器械運動の向上もめざして!』

今年の鉄棒運動に続き、長崎県の体育サポーター事業を活用し、野原征一氏（体操競技で国体優勝選手）をお招きして、3～6年生の跳び箱運動の指導をしていただきました。手のつき方や踏切のタイミング、助走からのリズム等、個に応じた指導があり、子供達の上達と共に、我々指導者の教え方の学びにもなりました。子供達には、苦手と考えず跳び箱や鉄棒の技の習得にチャレンジしてほしいです。



7月・11月は「ココロねっこ運動」強調月間です

ココロねっこ運動は、子どもの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる県民運動です。

～大人みんなで子どもの心を育てましょう! 「あいさつします。わたしから!」～



裏面に「ココロねっこ運動」の強調内容を載せています。

7月・11月は「ココロねっこ運動」強調月間です

ココロねっこ運動



毎月第3日曜日（標準日）は「家庭の日」です！

家族の時間を大切にしましょう

～月に一度は子どもを中心とした

家族だんらんの時間を！～

7月・11月は「ココロねっこ運動」強調月間です



親の責任で携帯電話を持たせるときは、子どもたちを守るためにフィルタリングを必ずしましょう。

○就寝2時間前にスマホ、タブレット等の電子映像画面から離れることが睡眠、脳科学、依存症の研究者等から推奨されています。



お子様のゲームや SNS の使用状況については、時々話をしてください。
有意義なツールですが、自ら悲しい状況を簡単に生み出すことができるものです。

市内でも学級閉鎖判断をしている学校があり、インフルエンザの感染拡大の心配が近づいてきています。確認ですが、

●基本的感染対策（手洗い・うがい・換気・休養と栄養・加湿）を行うことが大切です。重ねてご協力をお願いします。学校では状況によってマスク着用の対応もしていきます。

※注意点として、感染時の薬の服用によって異常行動として転落等の事故の恐れがあります。防止対策は十分にしてください。

重度の異常行動については、就学以降の小児・未成年者の男性の報告が多く、発熱から2日以内に発現することが多いそうです。